

# 社会資本総合整備計画書

宮城県の都市の発展を支える交通の円滑化・安心安全を向上化する社会資本整備

【事後評価】

宮 城 県

平成 28 年 3月

社会資本総合整備計画（道路事業） 事後評価書

平成28年3月1日

計画の名称	22 宮城県の都市の発展を支える交通の円滑化・安心安全を向上化する社会資本整備		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	宮城県、白石市、大崎市、村田町
計画の目標			

・宮城県における都市機能の改善、物流、交通結節点、観光拠点へのアクセス強化と円滑化による都市の発展を支援する社会資本整備を行う。

計画の成果目標（定量的指標）

・地域拠点等へのアクセス時間短縮を図る。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値	備考		
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)
① 地域拠点等へのアクセス時間短縮率 (%) 地域拠点等へのアクセス時間短縮率 = $\Sigma$ (事業前移動必要時間 - 事業後移動必要時間) / $\Sigma$ 事業前移動必要時間	0.0%	0.0%	38.8%

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,992百万円	A	1,992百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
宮城県事業担当課において、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果を踏まえて今後の整備方針を検討した。	平成28年3月
	公表の方法
	宮城県のホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
22-A1	街路	一般	県	直接	県	S街路	改築	駅前大通線	改築 L=0.6km	亘理町						96	
22-A2	街路	一般	県	直接	県	S街路	改築	駅前南通線	改築 L=0.1km	岩沼市						113	
22-A3	街路	一般	県	直接	県	S街路	改築	源光町田線（2）	改築 L=0.1km	栗原市						53	
22-A101	街路	一般	白石市	直接	白石市	S街路	改築	白石沖西堀線	改築 L=0.46km	白石市						879	
22-A102	街路	一般	村田町	直接	村田町	S街路	改築	沼辺足立幹線	改築 L=1.1km	村田町						591	
22-A103	街路	一般	大崎市	直接	大崎市	S街路	改築	李埴新田線	改築 L=1.1km	大崎市						260	
小計（道路事業）															1,992		
A2 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
小計（港湾事業）																	
合計																	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		駅前大通線の供用開始により、国道6号からJR亘理駅へのアクセスが向上し、交通の利便性が向上した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①地域拠点等へのアクセス時間の短縮（短縮率%）	最終目標値	38.80%	目標値と実績値に差が出た要因	東日本大震災により、事業執行に遅れが生じたため。
		最終実績値	21.20%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		市街地内交通の渋滞の緩和及び道路改良と合わせ歩道も整備されたことから、歩行者の安全性の向上も図られた。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
事業完了した駅前大通線以外は、引き続き効果発現を実現させるため、次期計画に位置づけ事業の推進に努める。					



(参考様式3)

(参考図面)

計画の名称	22 宮城県の都市の発展を支える交通の円滑化・安心安全を向上化する社会資本整備	1 県 2 市 1 町
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象 宮城県、白石市、村田町、大崎市

